

No.82

ARK

秋田県立近代美術館ニュース・アーク
第82号

2021.
4-9



ハンドルを回した力がカラクリのしくみで、ボールを上げるなどのさまざまな動きへと変化します。
カラクリ展より～ ポール・スプーナー＆マット・スミス《グリーンボール》1997年

いろんな たいけん、
いろんな はっけん。



●いろんな動物の作品を見ました。高瀬小学校セカンドスクール 6/11



●こんなところにもめってみたよ！ ひじゅつかんでローラー遊び 2 8/8



●ぐるぐるカラクリできました！ カラクリ展ワークショップ 7/31



●できばえに満足です！ つくろう！ ぶんぼうアニマルズ！ 7/25



●動くひみつは、フムフム…。内小友小学校セカンドスクール 6/30

ときめく美人画展 培広庵コレクション

2021.4.24(土)～6.20(日)

本展は、培広庵コレクションから鍋木清方、伊東深水など美人画の名手をはじめ、「三都三園」と称される上村松園、島成園、池田蕉園ら女性美人画家による優品など95作品を展示し、東京、京都、大阪、金沢という4都が生んだ作品を秋田で一堂に鑑賞できる機会となりました。

ギャラリートークでは「コレクターのよもやま話」として、作品にまつわる様々なエピソードをお楽しみいただきました。美人とともに描かれた四季の風物や古くから伝わる風習を見つけ、古きよき時代を思うもよし、華やかに着飾った女性の着物や髪型を愛でるもよし。様々なストーリーが凝縮された美人画を前に、古今東西の作家が求めた理想の美に思いをはせるのも、また楽しいひとときであったことでしょう。薄型ケースを使い、間近で鑑賞できる作品もあり、その表現の細やかさや卓越した技術に感心された方もいました。（担当：小林・鈴木京）

美人画の黄金期を築いた東西の画家たちの作品95点を展示しました。



寺崎廣業の新収蔵作品も展示しました（部分）。



着ている衣装や作品の大きさも多彩です。内覧会 4/23



表現に釘付け！ 川連小学校セカンドスクール 5/28

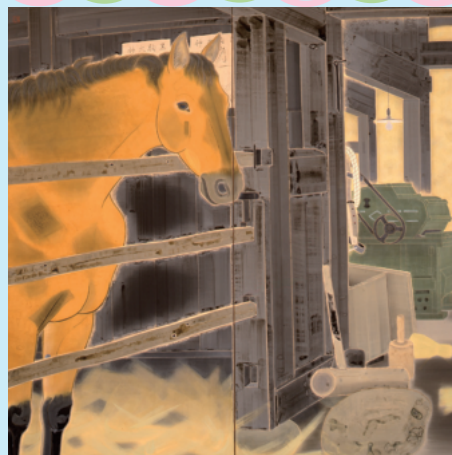
Exhibition コレクション展 1期

アートにみるイキモノたち

2021.4.14(水)～7.11(日)

昔からイキモノたちは作家にとってインスピレーションの重要な源となっています。身近に見られる小さなイキモノは、人間の親しい友、大切な家族の一員として制作の題材になり、古くから人々の生活や労働にかかわってきたウマ、ウシは田園風景や生活風俗のテーマの中で表現されてきました。また、大自然の厳しくも美しい環境で生きる野生のイキモノたちを撮影した写真や、幻想的な表現で描かれた作品もあります。

今回のコレクション展では、秋田ゆかりの作家の作品を中心にイキモノたちが表現された日本画、油絵、版画、彫刻、写真などをご覧いただき、そこに託された作家の思いや愛情を感じていただきました。（担当：鈴木秀一）



馬はかつて農業の担い手でした。 高橋萬年《馬屋》

2021 年度・上半期のふれんどリーギャラリー展示

①「齋藤國男 漆芸展」 6/6～7/4

②「大関智子 日本画展」 9/26～10/17

※ 美術館教室（工芸・日本画）の講師にちなんだ展示でした。学校等の団体での利用も受け付けております。



①



②



カラクリ展 ―動くしくみが丸わかり―

2021.6.26(土)―9.5(日)

ハンドルを回すと、おもしろい動きをくり返す「オートマタ」という人形を中心に、カラクリ機構に焦点を当てた展覧会です。イギリスのポール・スプーナーらのオートマタ作品をはじめとして、写真資料や機構模型、カラクリに時刻を書かせるという斬新な発想で話題となった鈴木完吾さんの「書き時計」など140点以上を展示しました。

作品に加えた力が、カラクリにより様々な動きへ変化する様子を見ることができ、知的好奇心が刺激される内容でした。関連イベントとして、鈴木完吾さんのスペシャルトーク、ABSアナウンサーとのトークセッション、カラクリボックスを作るワークショップを行い、大勢の方々にご参加いただきました。会期中には新型コロナウイルス感染拡大により、秋田県の警戒レベルが上がりましたが、最終的には1万6468人ものお客様が来場され、カラクリの魅力を存分に楽しんでゆかれました。(担当:木村・秋田)



6/25の内覧会の様子。カラクリに内蔵された機構にも注目です。

←人気だった、「スパゲティを食べる男」



ABS竹本多佳良アナウンサーとのトークセッション。7/3



書き時計作者・鈴木完吾さんによるスペシャルトーク。7/18



入場者1万人目。子供たちも大勢来てくれました。8/9



美のしくみ ～工芸セレクションほか～

2021.7.14(水)―10.11(月)

第2期は、工芸・日本画・洋画・彫刻の計60点をご紹介します。本展では「技法や制作背景」、「描かれている人物や物事」といった解説を、パネルや冊子の形式でご用意しました。関谷四郎《赤銅銀銅接合皿》は「接合せ」という技法の特徴から、皿の裏面にも表面と同じ模様が現れており、今回は両面をお楽しみいただけるよう、独立ケースで展示しています。河津五郎《十一面観音像》と河津胖子《訶梨帝母》は、久々の親子共演となりました。(担当:藤井)



ギャラリートークの様子

2021 年度・上半期に実施した教室など

- | | |
|-------------------------------------|------|
| ① みんなの教室「つくろう!ぶんぼうぐアニマルズ!」講師:当館学芸主事 | 7/25 |
| ② きっすあーと「びじゅつかんでローラー遊び2」講師:当館学芸主事 | 8/8 |

※ 秋田県の新型コロナウイルス警戒レベルが引き上げられたため、9/11、12に開催予定の工芸教室は延期、9/5に開催予定の「つちねんどでドロンコアート」は中止となりました。





Exhibition 特別展

生誕100年 滝平二郎展 ～ものがたりを描いた画家

2021.9.11(土)～11.14(日)

本展は作家・滝平二郎（たきだいらじろう 1921-2009）の画業をご紹介します。滝平は『モチモチの木』（1971年）などの著名絵本の挿絵、朝日新聞日曜版のきりえで知られる作家です。

「物語と人間が好きだ」と語った滝平の絵の中にあらわれているのは、人間のくらし、感情、物語。だからこそ世代を超え、数多くの人の共感をよび、愛されているのではないのでしょうか。

本展では、時を経て移り変わる滝平の画業の道のりを、300点以上の作品によってたどっていきます。物語を力強く支える滝平独自の造形がどのように生まれ、展開していったのか、その変遷も、「物語」とあわせてお楽しみ下さい。（担当：鈴木京・木村）



滝平二郎《天花粉》1974(昭和49)年 ©JIRO TAKIDAIRA OFFICE Inc.



Exhibition 出前美術展(能代エナジウムパーク)



峯田敏郎彫刻展 一記念撮影 空気と風土一

2021.7.8(木)～7.25(日)

能代エナジウムパークを会場に当館の所蔵作品をご紹介します「出前美術展」は、今年度で9回目を迎えました。今回は、秋田大学で9年間教鞭を執られた、秋田にゆかりの深い作家・峯田敏郎の作品を展示しました。主に東日本で転勤を繰り返してきた峯田が、それぞれの土地の印象を、人物・静物と組み合わせたシリーズ「記念撮影」を中心に、立体6点、デッサン類5点を展示し、18日間で2,771名のお客様にご来場いただきました。（担当：藤井・木村）

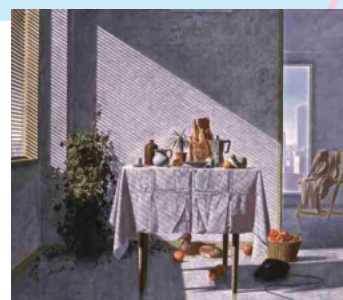
Topics

出前美術館(大館市立扇田小学校)

ARTが大館にやってきた in扇田小学校

2021.11.3(水・祝)～7(日)

出前美術館とは、学校等を会場とした美術展を開催することによって、県立近代美術館から遠距離にある地域の幼児、児童・生徒及び住民へ、美術館所蔵作品の鑑賞体験を提供する事業です。今年度は大館市立扇田小学校を会場に開催を予定しています。近代美術館所蔵品からえりすぐりの作品を「出前」して展示し、扇田小学校の児童によるガイドも予定しています。「なかなか、横手市まで足を運ぶ機会がない」という県北地域の皆様に所蔵品を鑑賞していただけることを楽しみにしています。（担当：小林・保泉）



展示予定作品より・三浦明範「斜線の風景」

Information

2021年度・下半期の事業（予定） ※ 新型コロナウイルスの感染拡大により、延期・中止となる場合がございます。

特別展・企画展

- 生誕100年 滝平二郎展 ～ものがたりを描いた画家 9/11～11/14
- 没後50年 勝平得之 11/20～2022.2/6
- 近美彫刻セレクション 一塊の生命カー 2022.2/12～4/17

コレクション展

- 第3期 エスキース esquisse ～スケッチの魅力～ 10/14～2022.1/11
- 第4期 収蔵品選(仮題) 2022.1/22～4/10

館外展示など

- 出前美術館(会場：大館市立扇田小学校) 11/3～11/7
- ネットワーク事業(会場：秋田県立図書館) 12/10～2022.1/25

ふれんどリーギャラリー展示

- 草薨裕写真展(仮) 11/21～12/26

美術館教室(中学生以上一般)

- 「日本画教室」(全2回) 10/2、3
講師：大関智子さん(秋田公立美術大学 助教)
- 「工芸教室」時絵で彩る(全2回) 11月頃を予定
講師：齋藤國男さん(秋田県工芸家協会 会長)
- 「写真教室」(全2回) 12/11、12
講師：草薨裕さん(秋田公立美術大学 大学院助手)

みんなの教室(小学生以上一般) ※低学年児童の参加は要保護者同伴

- 楽しいな！版画でカレンダー 12/5

特任館長講座 ※ 聴講無料、1回のみでも参加できます。

- 室町から桃山時代の美術と文化Ⅱ 風俗画の世界
6回目：10/16、7回目：11/6、最終回：12/4

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日 12.29～31、2022.1.12～21(予定)

013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46(秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858
E-mail: akitamama@rnac.ne.jp

交通 お車で●秋田自動車道・横手インターより3分
バスで●横手バスターミナル(JR横手駅東口)
～ふるさと村15分

ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索！
twitter、facebook も開設しています！

●発行編集・秋田県立近代美術館
●2021年9月30日発行